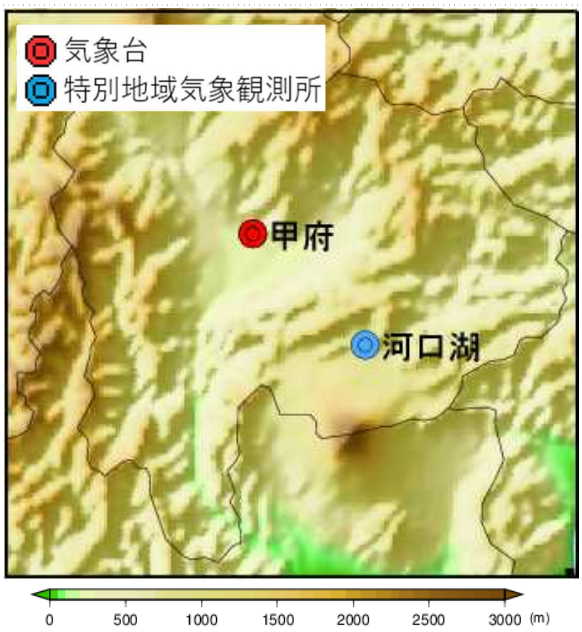
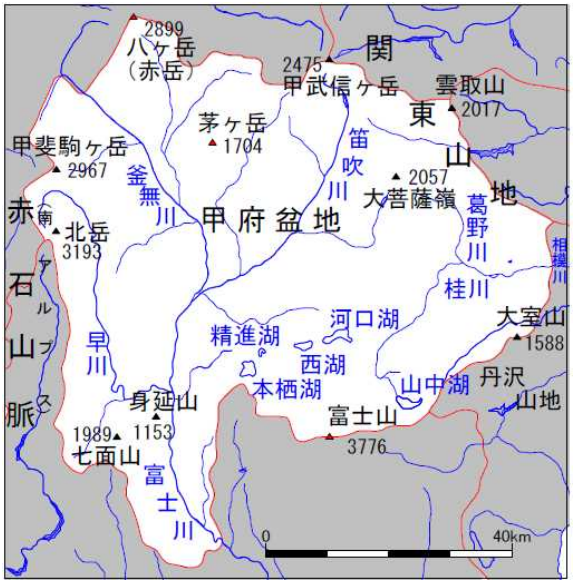
山梨県





山梨県の地勢

山梨県は本州のほぼ中央に位置し、北は埼玉県と長野県に、東は東京都と神奈川県に、南は静岡県に、西は静岡県と長野県にそれぞれ接している。山梨県の形状は、東西、南北とも約 90km の概ね円形で、総面積は 4,465km^2(全国第 32 位)である。

山梨県のほぼ中央に、甲府盆地が位置している。甲府盆地を除くと平坦地はきわめて少なく、南の日本最高峰の富士山(標高 3,776m)や西部の赤石山脈(南アルプス)を構成する北岳(標高 3,193m)など急峻な山岳に囲まれており、県土の約 78%が山地に属している。四囲を急峻な山岳に囲まれているため、これらから源を発する諸河川は急勾配で、主要河川に達するまでの距離は短い。

県西部を縦断して南に流れる富士川(釜無川)は、最上川、球磨川と並んで「日本三大急流」の一つに数えられ、笛吹川、早川などと合流して、静岡県富士市で駿河湾に注いでいる。

また、山中湖を源とし、北に流れる桂川は、葛野川を合わせて東流し、さらに相模川と名を変えて相模湾に注いでいる。

山梨県の主な湖沼には、富士山を囲む富士五湖(山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖)がある。

山梨県の気候

山梨県の気候は内陸性気候区に分類される。

気温は標高差による地域差に加えて、日較差、年較差が大きい。甲府では日最高気温の極値が 40℃を超えているが、標高の高い地域では気温は一般に甲府盆地（以下、盆地）より低く、年平均気温の差が 6℃に達する場合もある。

年降水量は少ない地域と多い地域が混在している。盆地では年降水量が約 1,100mm と少ないが、富士五湖周辺や富士川の流域では南岸低気圧・前線などの影響を受けやすく、盆地の 2 倍強に達する所がある。

風は四囲を高い山岳に囲まれているため全般に弱く、年平均風速が 2m/s 以下の地点が多い。なお、甲府では台風と冬型の気圧配置で、河口湖では台風で強風となることが多い。

年間日照時間は盆地や八ヶ岳山麓では全国的にみても多い。一方、県南部では赤石山脈や周囲の山で日が遮られ、東部・富士五湖周辺では北東からの湿った気流の影響を受け曇りやすいため、盆地に比べて年間日照時間は少ない。

冬季には、南岸低気圧の影響で大雪になることがあるが、北部や西部の山沿い地方を除き、冬型の気圧配置での降雪はまれである。しかし、標高が高い地域では、雪日数や降雪量が盆地よりかなり多くなっている。

地形データには USGS（アメリカ地質調査所）の GTOPO30 を利用した。